

みんなの議会 知らせ版

一般質問：令和元年6月20日（木）13：00～

元年2定号

順番	質問者	質問項目	答弁者
1	鵜野議員	産業の振興・創出・推進の取り組みとは	町長
2	久保議員	横山茂町長の選挙公約の具体案と、町民との合意の方法は	町長
3	畑地議員	スマート農業の推進について	町長
4	上野議員	町道の安全対策について	町長
5	上野議員	青少年のスポーツについて	町長・教育長
6	伊藤議員	産業創出と農業の方向性について	町長
7	長野議員	沼田町存続の根幹、少子化対策について	町長
8	長野議員	高齢者施設の介護職員確保について	町長
9	長野議員	「沼田学園推進室」設置の趣旨について	教育長
10	篠原議員	消費税率引き上げに対する町の姿勢について	町長
11	篠原議員	年金生活世帯への福祉対策事業について	町長
12	大沼議員	社会的養育の推進について	町長
13	高田議員	第6次総合計画と第2次総合戦略	町長

令和元年第2回定例会は、6月20日から21日までの予定です。

6月20日 10:00～ 町政執行方針(町長)・教育行政報告(教育長)
13:00～ 一般質問(13件)

是非、役場3階 議場 までお越しください。

中途からの入場、中途退場もできますので、お気軽に傍聴下さい。
なお、議員並びに理事者・説明員におきましては、軽装のまま議案審議を行いますので、傍聴の皆様におかれましても、楽な姿勢でご来場願います。

～健康福祉総合センター（役場東側玄関）から入り、エレベーターを利用すると便利です～

お問合せ先：沼田町議会事務局

令和元年 第2回沼田町議会定例会 一般質問要旨

【町長】

通告順	1	質問議員	鵜野議員
質問項目	産業の振興・創出・推進の取り組みとは		
質問内容	<p>町政執行方針に基本政策が五つ掲げられました。</p> <p>その一つ「産業の振興」について、沼田農業の持続可能な環境、商業環境の魅力創出を図り産業振興を目指すとするが、具体的にどのような取り組みかを聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業の所得対策 ○ 農業の労働力確保対策 ○ 商工業の振興対策 		

通告順	2	質問 議員	久保議員
質問 項目	横山茂町長の選挙公約の具体案と、町民との合意の方法は		
質問 内容	<p>横山茂町長が選挙で訴えられた「重点政策」は、下記の5つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交流人口の拡大 2. 産業の振興 3. 雪利用の促進と産業創出 4. 教育・子育て環境の充実 5. 町民福祉の向上 <p>また、横山町長は選挙中に「JR留萌線の維持」も訴えられていました。深川市の山下貴史市長は、「8人以上の乗車料金の半額を助成する」などの具体策の実行を開始しました。秩父別町の新しい渋谷信人町長も、沿線市町との連携を重視し、「駅の無い町にはしたくない」と存続を訴えています。横山町長の具体案『すずらん』やクラウド15号の単年度イベントだけでは、その年は盛り上がりながらも普遍的な乗車人数の確保に結びつきません。</p> <p>横山町長も、いよいよ当選し最初の定例議会を迎え、政策予算に着手し、提案をいただける段階となりました。政策推進室は町長も、かつて室長として手腕を発揮されましたが、その「政策」を名乗る部署も無くなります。かつて総務課の名称で町長から直轄の政策立案プロジェクト機能があった部署が財政を加えることで、お金の健全化の安定は図れるかもしれませんが、戦略的な攻めの政治を行うには組織の構造不安を感じてしまいます。</p> <p>それでは町長の選挙公約を、この行政組織で、どのようなアイデアで具体的な政策にするのでしょうか。特に「重点政策」5つと、JR維持の具体策を提示していただきたい。</p> <p>また、金平嘉則前町長は町民との合意形成の手法に、山崎亮・代表が率いるスタジオLのファシリテーター手法を使ったワークショップなどを活用されましたが、横山町長はご自身の政策を実行するにあたり、どのような具体的な手法で、町民や、役場の職員や、議会と合意形成をするのでしょうか。</p>		

通告順	3	質問 議員	畑地議員
質問 項目	スマート農業の推進について		
質問 内容	<p>スマート農業にはセンサーなどを使って必要な情報を収集するセンシング技術や、生産管理、農薬散布ドローン、地理情報システムの活用までさまざまな分野があるとされます。今回沼田町第6次総合計画（案）が提示され、農業分野ではGPS等を活用したICT等スマート農業の普及推進に対応するため、関係機関と連携し、今後計画に基づき様々な事業が展開されていくことと考えます。</p> <p>農業経営において省力化等では有力な手法であるが、個々での取り組みには課題が多く、精度を高めたRTKの導入には自治体による強力なインフラ整備と農家個々での過大な設備投資が必要とされております。</p> <p>農業所得の面から見ると所得向上に直結する効果は低いものの、今後の中山間地域での農業における多様な担い手づくり、そして既存の家族経営や大規模な農業経営でも課題である労働力不足解消につながる新技術と注目され、各自治体において取り組みに大きな差があります。</p> <p>そこで本町のスマート農業の推進で特に衛星測位システム環境整備における</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インフラ整備に関する課題点と今後のスケジュールについて ②受け皿となる組織づくりや担当部署について <p>以上、沼田町農業の将来像を左右する環境をどのように構築していくかを伺いたい。</p>		

通告順	4	質問 議員	上野議員
質問 項目	町道の安全対策について		
質問 内容	<p>町道の交差点の安全対策を今後どのようにお考えかお聞かせ下さい。特に大徳寺前のカーブは通学通園、こども園の散歩道路になっています。</p> <p>子供目線そして親の心配する気持ちになり、早急に対策を取るべきと思いますので、町長のお考えをお聞かせ下さい。</p>		

通告順	5	質問議員	上野議員
質問項目	青少年のスポーツについて		
質問内容	<p>沼田町の子供達がスポーツに興味を持ち成長するには指導者、スポーツを出来る環境が大切だと思います。</p> <p>子供達の「スポーツ助成金」はあるがボール等器具の更新には助成されていないのが現状なので、新規格のスポーツ用品の購入には全額町の予算措置すべきと思います。</p> <p>子供達のやる気にも繋がるので早急に対応すべきと思いますが町長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>又、北海道のスポーツ予算も多くあるので、沼田町の子供達に必要な補助金を使うべきと思いますが、教育長のお考えをお聞かせ下さい。</p>		

通告順	6	質問議員	伊藤議員
質問項目	産業創出と農業の方向性について		
質問内容	<p>町政執行方針の中で、産業創出課として枠組みを新たに作り取り組まれますが、どのような方向性で、検討され実施されていくのかをお伺いしたい。</p> <p>基幹産業である本町の農業が、持続可能な農業、真に強い農業として推進していくのであれば、農業の中から、新しい産業を創出していくことが必要と考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 沼田町の農産物売上高のうち、8割から9割が米の生産で占めている中、米の所得補償制度の見直しなどで、農家の収入は、国の政策などで左右される事が多く、安定的な農業所得確保のため。 2. 町の特産物になるような付加価値をつけた農産物の生産や商品の開発で、より有利な販売や値段に繋がる産業の必要性 3. 雇用の創出による人口減少問題の対策 など <p>これらのことは事業者を行政として側面から支援する事により、沼田町のブランド力を上げ、本町の魅力を発信するためにも農業者だけでなく、最終的には福祉や教育にも繋がる事と考えますので、見解をお伺いいたします。</p>		

通告順	7	質問 議員	長野議員
質問 項目	沼田町存続の根幹、少子化対策について		
質問 内容	<p>1 全国的な人口減が進んでいます。沼田町も10年後には2000人近くまでの人口減が憂慮されます。先進国は、人口減の傾向はあるものの、出生率回復の成功事例もあります。本来、国レベルの問題ではありますが、沼田町として諸外国の少子化対策の成功例等から学び、「沼田町ならではの少子化対策」を策定し、全道、全国のモデルとなる少子化対策を展開してはどうか。</p> <p>(例1) スウェーデン(出生率1998年に1.50が2010年に1.98に上昇) ア スピードプレミアム制度 二人以上の子どもを出産時、間隔が短ければ短いほど優遇される制度 イ 育児休暇制度の充実 子どもが8歳まで両親併せて最高480日の育児休暇を取得でき、給付金がもらえる制度</p> <p>(例2) フランス(出生率1990年に1.8が2010年に2.0に上昇) ア 妊娠、出産、不妊治療費用の無料化 イ 子どもの多い世帯ほど所得税が軽減する仕組み 結婚し夫婦一緒に税金を安く抑え、さらに子どもを産めば産む程、税金が安くなり、結婚して子どもを産みたいと考える人が増加したと考えられる。</p> <p>(例3) ドイツ(2016年に20年ぶりに1.59に回復) ア 両親手当・・・父親の育児休業を促進するために制度 ・父親育休→産休前の手取り67%の給付金保障 ・母親が休業する場合は12か月手当てが支給される等の支援</p> <p>「少子化のダメージは、確実に地方から来る」この現実には待ったなしの危機感を持ち、北海道沼田町の英知を結集し、全道、全国の先駆けとなる第6次総合計画を展開する。出来るところから大胆に、出生率回復をめざす必要があります。</p> <p>国の施策に本町が活用できるものがあるのか。併せて沼田町存続の根幹となる少子化対策について町長のお考えをお聞きしたい。</p>		

通告順	8	質問 議員	長野議員
質問 項目	高齢者施設の介護職員確保について		
質問 内容	<p>1 和風園、旭寿園、なごみの高齢者施設の充実は、高齢者や家族にとって心強く大きな支えになっていると感じています。一方、介護を担う介護職員の確保については、以下の理由から今後の課題と考えます。</p> <p>(1) 若者の職業選択の介護職離れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護学校の定数割れ。 ・介護学校卒業だけでは国家資格を取得できなくなったこと。 <p>(2) 介護職員希望者の都会勤務指向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の人材確保がさらに厳しくなる。 <p>(3) 沼田町の労働人口が減っていく。</p> <p>以上の理由から、沼田町は基より北空知全体で今後の働き手不足が予想される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員不足を補う人材確保や外国人労働者を受け入れる研修体制の構築は、一町だけで行えるものではなく北空知共通の課題と考えます。本町の方向性を示すと共に、広域の懸案事項として他市町との連携、協働の時機と考えます。 <p>町長のお考えをお聞きしたい。</p>		

通告順	10	質問 議員	篠原議員
質問 項目	消費税率引き上げに対する町の姿勢について		
質問 内容	<p>この秋から消費税率を10%に引き上げることが計画されている。これは町民、とりわけ所得の少ない世帯に対して大きな打撃となる。国の動きに対して住民の暮らしを守ることが地方自治体の役目であるとするれば、消費税増税に対してどのような姿勢で臨むべきなのか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 消費税の値上げに対する町長の考えは 消費税についてはすべての国民が公平に負担するという考え方があるが、税の応能負担の観点から考えると、生活困窮者にも生活必需品に税金がかかるという負担を強いる不平等なものになっている。町として様々な生活への助成を行うなど対策は執っていると思うが、根本的に消費税の増税に反対の立場を表明する考えはないのか伺いたい。 2. 保育料と教育費の無償化は、消費税に頼らずに国費を投入することを国に求める考えはあるか。 保育料や高等教育の無償化などの国の施策について、その財源として消費税が想定されている。保育料についてはもともと低所得層には減免などの措置があったが、無償化によって家計に余裕のある家庭も無償化の恩恵にあずかる一方、低所得者には消費税の値上がり分だけが負担増となる。政府が考える高等教育無償化も、対象となるのは一部の学生だけ。消費税の値上げではなく国費の投入を政府に対して求める考えはないのか。 3. プレミアム付商品券の発行については、消費税の値上がりに関わりなく地域経済の活性化のために実施するものではないかと思うがどうか。 プレミアム付商品券については、以前も実施した実績がある。消費税の値上がり分を還元するという考え方ではなく、地域経済の活性化のために実施するということであれば、仮に増税が見送られた場合でも実施すべきものとするかどうかがどうか。 		

通告順	1 1	質問 議員	篠原議員
質問 項目	年金生活世帯への福祉対策事業について		
質問 内容	<p>この間物価が上昇傾向にある中で、高齢者の生活を支える年金は実質的に目減りしている。さらにこの秋からは消費税率の値上げを始め様々な値上がりが見込まれ、もしこれらが実施されると高齢者の生活はますます苦しくなっていくことが予想される。</p> <p>沼田町は子育て支援に手厚い町ということは理解しているが、この沼田町を築いてきたみなさんに対してもう少し援助の手を差し伸べることはできないのか。</p> <p>1. 冬期間の暖房費助成について 沼田町では子育て世帯に対して暖房費助成として1万円の商品券を交付する事業がある。高齢者世帯独自には医療や介護分野での助成を中心に、加えて除雪費への助成事業があるものの暖房費への助成は予定されていない。かつては福祉灯油として行われていた事業なので、是非とも実施してほしい。少なくとも、今後の灯油価格動向によっては復活することはあり得るのか。</p> <p>2. 水道料金の基準細分化について 昨年12月議会でも取り上げられたことだが、水道使用量の少ない世帯に対して、料金体系の見直しによって実質的な使用料金値下げをすることを検討していく余地はないのか改めて聞きたい。</p>		

通告順	1 2	質問 議員	大沼議員
質問 項目	社会的養育の推進について		
質問 内容	<p>子どもの虐待が年々上昇している傾向にある中、厚生労働省は平成 28 年児童福祉法改正の理念を具体化するために「新しい社会的養育ビジョン」を提示し、市町村においても、29 年度から改革に着手し、目標年限を目指し計画的に子ども家庭支援体制（ソーシャルワーク体制の構築と支援メニューなど）の充実を図るとしています。</p> <p>沼田の子ども達だけでなく「日本の子ども達の命を救う」ことにも視点を置いて町長が掲げる新たな視点と創造に施策をつなげることができないか所信をお尋ねします。</p>		

通告順	1 3	質問 議員	高田議員
質問 項目	第 6 次総合計画と第 2 次総合戦略		
質問 内容	<p>現在、沼田町第 6 次総合計画の策定が進められています。一方で今年度は地方創生第 1 期目の最終年であり、第 2 次総合戦略の策定も控えています。</p> <p>時系列的には「第 6 次総合計画」が先行して「第 2 次総合戦略」が後追いになるかと思いますが、当然これらには整合性が求められます。</p> <p>地方創生第 2 期に向けたポイントがいくつか見えてきました。以下の 2 項目について、町長の考えと「第 6 次総合計画」へどのように反映していくのか質問します。</p> <p style="text-align: right;">5 月 23 日付、有識者会議報告書より</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 人材育成・・・「高校生を対象に地域の産業や文化への理解を求める教育を実施」とあります。現在実施している「しごと・未来応援プロジェクト」は正に先駆けであります。当事業をどのように発展させていくのか。 2, 関係人口・・・「東京圏で暮らしながら地方企業の経営改善などに貢献する“関係人口”を拡大」とあります。従来の“交流人口”から経済関与を加えた形が求められています。町内でどのように展開して行くのか。 		

【教育長】

通告順	5	質問議員	上野議員
質問項目	青少年のスポーツについて		
質問内容	<p>沼田町の子供達がスポーツに興味を持ち成長するには指導者、スポーツを出来る環境が大切だと思います。</p> <p>子供達の「スポーツ助成金」はあるがボール等器具の更新には助成されていないのが現状なので、新規格のスポーツ用品の購入には全額町の予算措置すべきと思います。</p> <p>子供達のやる気にも繋がるので早急に対応すべきと思いますが町長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>又、北海道のスポーツ予算も多くあるので、沼田町の子供達に必要な補助金を使うべきと思いますが、教育長のお考えをお聞かせ下さい。</p>		

通告順	9	質問議員	長野議員
質問項目	「沼田学園推進室」設置の趣旨について		
質問内容	<p>1 沼田学園は、沼田町一貫・連携教育の目的ではなく「手段」と認識しています。</p> <p>今回新たに設置予定の「沼田学園推進室」は、下記の点を網羅したものなのか。</p> <p>(1) 小中の一貫・連携（児童生徒、教職員、保護者）</p> <p>(2) こども園との連続性（幼小中）</p> <p>(3) コミュニティスクールへの発展性（町民）</p> <p>(4) コーディネーター・教育委員会社会教育との協働（組織体制）</p> <p>(5) その他</p> <p>推進室について、町民への周知方法も含め、教育長のお考えをお聞きしたい。</p>		